

令和7年度 第1回中央区地域福祉専門会議 会議要旨

- 1 日 時 令和7年8月6日（水）午後2時～午後3時半
- 2 場 所 大阪市中央区役所7階703・704会議室
- 3 出席者 西口委員（議長）、庄司委員（議長職務代理）、東委員、泉谷委員、江島委員、清田委員、雑賀委員、冨田委員、中飯委員、井上理事（藤井委員代理出席）堀井委員、美原委員、森島委員、山口委員、山本委員、吉田委員、古道委員
事務局 松田区長、小林副区長兼保健福祉センター所長、塩谷保健福祉課長、福田子育て支援・保育担当課長、山内地域保健活動主幹、柴田保健福祉課長代理、杉之原保健福祉課担当係長
- 4 議 題
 - (1) 「増進型地域福祉」について 桃山学院大学小野先生
 - (2) 中央区地域福祉ビジョン2023～2025の計画期間について
 - (3) 「(素案)地域福祉ビジョン2023～2027【2025中間見直し】」について
 - (4) 今後のスケジュールについて
 - (5) その他
- 5 議事要旨
 - 大阪市中央松田区長より開会の挨拶
 - 事務局より、議長・議長職務代理者、資料1の委員の紹介・欠席・変更・代理出席の報告
 - (1) 「増進型地域福祉」について 桃山学院大学小野先生より説明
 - (2) 中央区地域福祉ビジョン2023～2025の計画期間について
 - ・事務局より資料2-1～2-3に基づき説明し、本資料のとおり中央区地域福祉ビジョン2023-2027【2025中間見直し】を進めていくことを確認した。
 - (3) 「(素案)地域福祉ビジョン2023～2027【2025中間見直し】」について
 - ・事務局より資料3-1～3-2に基づき（素案）を提案説明し、確認した。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・事務局より今後の開催予定を説明

○ 意見等の概要は次のとおり。

- 中央区において「増進型地域福祉」の視点から、タワーマンションなど自治会加入率が低い集合住宅の繋がりについて、発想の転換として管理組合ごとの集まりを作るマンションサミットなどの発想もひとつではないか。
- ”福祉”の従来のイメージは”マイナスからゼロ”だったが、増進型の地域福祉はマイナスからゼロにとどまらず、理想の状態まで持っていくものであり、今日の議事・説明でいうと、今の素案がゼロの状態、これをさらに理想のものにしていかないといけないのでは。
- 現計画については、策定時に「増進型地域福祉」を基本理念に掲げ、理想の目標へ向けた取組を既に推し進めているところ。今回の（素案）中間見直しは、令和7年2月の専門会議にて実施した現計画取組の評価を反映しつつ、新たな施策の追加・修正などを含め作成したものであり、その考えは大阪市地域福祉基本計画（第3期）2024-2026に沿っており、今の素案はゼロの状態ではないと認識している。
- 今回は他の計画改定との関係性から、現状の計画期間を中間見直しによる2年延長とし、次期の改定タイミングにおいて、他の計画と連携した理想の取組について検討することが良いと考えご提案したもの。
- 中間見直しを行った経過の取組評価はどのように表すのか。
- 計画の評価・修正の表記については、今後、事務局にて案を作成する予定。